

北海道にデータセンター集積地の創成を目指す民間研究会が発足

～北海道ニュートピアデータセンター研究会～

【概要】

2020年7月14日（火）に北海道大学、東京大学、室蘭工業大学、慶応義塾大学の研究者とアルテリア・ネットワークス、さくらインターネット、三菱総合研究所、ブロードバンドタワー、Digital Edge、王子エンジニアリング、フラワーコミュニケーションズなどの企業が北海道ニュートピアデータセンター研究会を発足しました。研究会代表に山本強 北海道大学特任教授、副代表に江崎浩東京大学教授、岸上順一室蘭工業大学 特任教授、村井純 慶応義塾大学教授があたります。事務局はクラウドネットワークス（株）などが担当します。

北海道ニュートピアデータセンター研究会は Society 5.0 時代に向けてインターネットとデータセンターの産業構造を革新するシナリオを描くことを目的としてアカデミアとインダストリーの有志により結成された研究会です。

近年頻発する大規模災害、パンデミックが情報一極集中のリスクを顕在化しています。今がグローバルスケールで情報ネットワークとデータセンターのインフラを再設計するタイミングであるという共通認識のもと、私たちは北海道をデータセンター立地のパラダイスにするという目標を設定して、短期間で提言書の形にまとめます。

【目的】

- ・ ポストコロナの時代、国内データセンター配置のあるべき姿を検証。北海道にデータセンターを沢山作ることの効果と重要性を議論。
- ・ データセンターの経済性至上主義＝東京一極集中から環境配慮型＝分散型データセンター。それならば、北海道。データセンターは北へ。
- ・ 太平洋側、日本海側を結ぶ北海道 ICT コリドールの具体化。
- ・ 北海道の地理的な位置や、北極海海底ケーブル敷設計画の活発化に伴い、我が国の海底ケーブルトポロジに対する北海道の役割を議論する。
- ・ 光海底ケーブルを仲介する北海道。北海道に海底ケーブルランディングのフリーポートを設定。
- ・ データ、物流、人流が一体化した拠点を作り、日本のニューノーマルの形とする。

【研究会ホームページ】

<https://nutopia-hokkaido.org>

【添付資料】

設立趣意書、発起人一覧

問い合わせ先

北海道ニュートピアデータセンター研究会事務局
〒004-0862 北海道札幌市清田区北野2条2丁目20-1
クラウドネットワークス株式会社
TEL 011-555-2408 FAX 050-3160-5320
メール office@nutopia-hokkaido.org

北海道ニュートピアデータセンター研究会 設立趣意書

ポストコロナの時代にむけて、人々の生活スタイルが変わりつつある。それと同期するように、日本の社会システムの Society5.0 化も進んでいる。今後の日本の国の形まで変えるかもしれない大変革の時だからこそ、いままで当たり前だとおもっていたネットワークやデータセンターといった IT インフラの在り様も変わらなければいけない。現代生活はインターネットに依存し、利用しているサービスも国内、国際関係なく、重要な生活インフラなのである。

現在、データセンターの多くは首都圏や大阪周辺に集中し、ネットワークやインターネットエクステンジ、国際の光海底ケーブルが特定のエリアに集中している。この状況が維持されることが日本の未来に期待されているとは限らない。ポストコロナ、Society5.0 の時代に向けて、日本のインターネットとデータセンターの役割、機能、立地をどのように変えていくべきか、今がそのグランドデザインをする重要なタイミングである。われわれはインターネットの構造、データセンターの立地という視点から、ビジネス、生活、そして国際連携の新形態を再設計する研究会を設立して議論するために本研究会を設立するものである。

特に、日本の IT インフラの変革の大きなきっかけとして、北海道をデータセンターの集約場所にできないか検討する。そのために必要な IT インフラとして北海道と東京を直結する光海底ケーブルネットワークを整備し、海外利用者の取り込みのためヨーロッパから北極海経由で北海道をつなぎ、東京を経由してグアム（オーストラリア、ハワイ、アメリカ、香港、フィリピン、東南アジア）をつなぐ。

北海道がデータセンターの運営適地であることはながらく評価されているが、なかなか導入がすすまない。再生可能エネルギーの一大生産地としての北海道の果たせる役割は大きい。今回の研究会名は北海道がデータセンターの理想的な場所であり、新しいネットワーク整備の重要なファクターなので、研究会名は、N=New, North, Network、Nu->New と理想的な環境ということで Nutopia を組み合わせた「北海道ニュートピアデータセンター研究会」とする。

活動の目的

- ・ ポストコロナの時代、国内データセンター配置のあるべき姿を検証。北海道にデータセンターを沢山作ることの効果と重要性を議論。
- ・ データセンターの経済性至上主義 = 東京一極集中から環境配慮型 = 分散型データセンター。それならば、北海道。データセンターは北へ。
- ・ 太平洋側、日本海側を結ぶ北海道 ICT コリドールの具体化。
- ・ 北海道の地理的な位置や、北極海海底ケーブル敷設計画の活発化に伴い、我が国の海底ケーブルトポロジに対する北海道の役割を議論する。
- ・ 光海底ケーブルを仲介する北海道。北海道に海底ケーブルランディングのフリーポートを設定。
- ・ データ、物流、人流が一体化した拠点を作り、日本のニューノーマルの形とする。

2020年7月14日 設立

発起人一覧

	有田 大助	アルテリア・ネットワークス(株) 取締役専務執行役 CCO
○	江崎 浩	東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授 WIDE プロジェクト 代表
○	岸上 順一	室蘭工業大学 特任教授 慶應義塾大学 特任教授
	ユハ・サウナワーラ	北海道大学 北極域研究センター 助教
	田中 邦裕	さくらインターネット(株) 代表取締役
	中村 秀治	(株)三菱総合研究所 執行役員 営業本部長
	藤原 洋	(株)ブロードバンドタワー 代表取締役会長 兼 社長CEO
	古田 敬	Digital Edge 社 日本代表
●	三谷 公美	一般社団法人 LOCAL 理事 さくらインターネット(株) 企画推進部
○	村井 純	慶應義塾大学 教授 WIDE プロジェクト Founder
	村田 英司	王子エンジニアリング(株) 代表取締役副社長 営業技術本部長
	柳川 直隆	(株)フラワーコミュニケーションズ 代表取締役 北海道産業集積アドバイザー
◎	山本 強	北海道大学 産学・地域協働推進機構 特任教授
●	吉田 淳	クラウドネットワークス(株) 代表取締役

◎…発起人代表 ○…発起人副代表 ●…事務局